



ちょっと挑戦

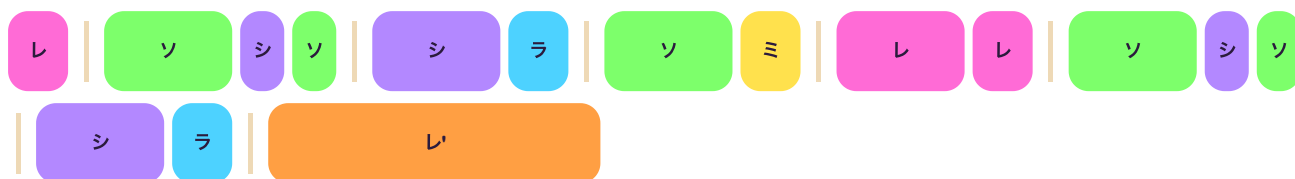
リコーダーで「アメイジング・グレイス」を吹こう

Amazing Grace

リコーダー「アメイジング・グレイス」のドレミ楽譜。音ごとの運指つき。

1772年にジョン・ニュートンが書いた賛美歌で、ゆっくりした3拍子です。長い音は、息を安定させるよい練習になります。使う音は6つ：低いレ・低いミ・ソ・ラ・シ・高いレ。下に、リズムつきの音と、それぞれの運指があります。

音



長いブロックほど長い音です。線は小節の区切りです。

五線譜



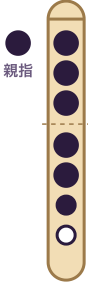
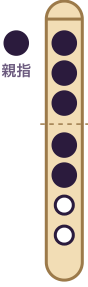
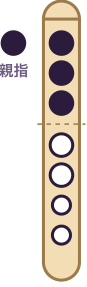
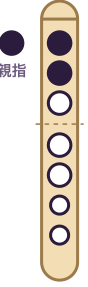
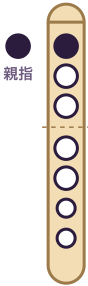
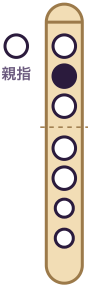
同じ曲を五線譜で。下に音の名前があります。

ドレミで書いた音

レ ソ シ ソ シ ラ ソ ミ レ レ ソ シ ソ シ ラ レ'

「'」は高い音のしるしです：高いレ。ソプラノリコーダー用です。

運指

 <p>低いレ</p> <p>親指の穴をふさぐ、1・2・3・4・5・6番の穴をふさぐ</p>	 <p>低いミ</p> <p>親指の穴をふさぐ、1・2・3・4・5番の穴をふさぐ</p>	 <p>ソ</p> <p>親指の穴をふさぐ、1・2・3番の穴をふさぐ</p>	 <p>ラ</p> <p>親指の穴をふさぐ、1・2番の穴をふさぐ</p>
 <p>シ</p> <p>親指の穴をふさぐ、1番の穴をふさぐ</p>	 <p>高いレ</p> <p>親指の穴をあける、2番の穴をふさぐ</p>		

「再生」をタップすると音が聞けます。カードをタップすると吹き方が見られます。黒い穴はふさぎます。左手が上（親指は裏、1～3番の穴）、右手が下（4～7番の穴）です。

コツ

- 1つの音ごとに「トゥ」と舌をつかって吹きましょう（タンギング）。同じ音が続いても、1つずつはっきり聞こえます。
- スープをさますように、やさしく息を入れましょう。強すぎると、ピーッと1オクターブ上の音になります。
- 指先ではなく、指のはら（やわらかいところ）で穴をふさぎましょう。すき間から息がもれません。

- 低いレはいちばんやさしい息で、すべての穴をしっかりふさぎます。ピーッと鳴ったら、まず下のほうの指を確かめましょう。
- 高いレは親指の穴をあけて、2番の穴だけをふさぎます。左手の中指でささえます。